

7/13 置中2年生音楽の学習、雅楽を学ぶ

7月13日、置戸神社で置戸中学校2年生19人が、雅楽を学びました。この授業は、置戸神社が協力の上、音楽の学習の時間に関催しており、今年で6回目。生徒たちは、藤川伸生宮司から雅楽の歴史や言葉について説明を受けました。合わせて雅楽で使う菴笛、篳篥、笙、和琴などの楽器の仕組みを学んだ後、藤川宮司ら神職の3人が奏でる「越殿楽」を鑑賞しました。



7/14 赤十字フェス2018賑わう

赤十字フェスティバル2018in置戸が7月14日、置戸赤十字病院で開催されました。無料で受けることができる骨粗しょう症診断などの健康チェックや相談コーナーでは、健康に関心のある多くの来場者が訪れました。また、置戸町赤十字奉仕団や置戸高校ボランティア部くれよんが協力し、豚汁の無料提供や子どものためのヨーヨー釣りなどのコーナーも賑わいました。



7/20 野生大麻撲滅に向けて

北見保健所は7月20日、町内のボランティアなど40人の協力を得て、野生大麻草の除去作業を行いました。真夏日の中、参加者は額の汗を拭いながら草をかき分け、群生する大麻草を一本一本抜き取る作業にあたりました。参加者が除去した大麻草は約7,466本で、北見市内の施設で焼却処分されました。北見保健所では自生している大麻草の情報提供を呼びかけています。



7/26 心なごむ、花いっぱいのもち

37回目を迎えた置戸町自治連絡協議会主催の花いっぱい共励会が7月26日に開かれ、花いっぱい運動を実践している個人や団体、職場から花壇の部、ガーデニングの部を合わせて21件の参加申し込みがありました。審査は行わず、参加者の花づくりを見学して、生育方法やデザインなどの情報交換を行い、「色の組み合わせが綺麗」「よく手入れされ、綺麗に咲いている」などと話していました。

